

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2203113	生活スタジオⅡ SEIKATSU studio Ⅱ	相原・龍田・西原・ 丹羽・平岩・森山・ 山田	専門	2	選択	3年 後期

科目の概要

勉強や研究を意味する英語の「スタディ」の語源は「ステュディオス」というラテン語で、もともと何かに熱中、集中している状態を示していたそうである。その何かに熱中、集中し、夢中になった状態で作業をおこなう場が「スタジオ」となる。この『生活スタジオ』も学生自身が、あるいは地域の人たちや教員が投げかけた問題・課題に夢中になって取り組み、答えを見つけていく『場』として設定されている。この、あらかじめ解の設定されているわけではない問題・課題をよりよい解決に導くためには、これまでに「キャリア形成Ⅰ～Ⅲ」「生活スタジオ入門」をはじめとした家政学専攻の授業で身に付けた知識・技術・能力を活用すること、そして学生同士、学生と教員、さらには学外の支援者との協力のもと、最大限の努力を惜しまない態度、最後まで諦めない姿勢が必須となる。

学修内容	到達目標
① チームで計画的に作業を進めることを経験する。 ② 年齢や立場の異なるさまざまな人とコミュニケーションをとることを経験する。 ③ 活動内容を記録し、口頭と文書により報告する方法を学ぶ。	① チームで計画的に作業を進め、課題を達成する。 ② 年齢や立場の異なるさまざまな人とコミュニケーションをとりながら課題を達成する。 ③ 活動内容を詳細に記録し、口頭と文書によりプレゼンテーションができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	プロジェクトの完遂に向け、時間や労力を惜しまず継続して取り組むことができる。
	働きかけ力	プロジェクトの完遂に向け、よりよい協力関係を築くことができるようチームのメンバーに声掛けができる。
	実行力	プロジェクトの完遂のために、困難を乗り越えることができる。
考え抜く力	課題発見力	プロジェクトの問題点を客観的に分析し、その解決方法を提案することができる。
	計画力	プロジェクトを円滑に進めるためのスケジュール管理、予算管理ができる。
	創造力	プロジェクトをよりよい解決に導くために複数のアイデアから最善の方策を導き出すことができる。
チームで働く力	発信力	プロジェクトの進捗状況を整理し、聞き手に解りやすい工夫を加えながら発表することができる。
	傾聴力	プロジェクトに関わる様々な立場の人と円滑なコミュニケーションをとることができる。
	柔軟性	プロジェクトに関わる様々な立場の異なる意見や価値観を理解し、受け入れることができる。
	状況把握力	プロジェクトの完遂に向け、自分のやるべきことを理解し、行動することができる。
	規律性	プロジェクトを円滑に進めるためのルールをメンバー同士で確認し、それを遵守することができる。
	ストレスコントロール力	プロジェクトの完遂のための困難を自己成長の機会と捉え、前向きに受けとめることができる。

テキスト及び参考文献

テキストは用いない。必要に応じてプリント資料を配布する。

参考書：授業内で適宜紹介していく。

他科目との関連、資格との関連

キャリア形成Ⅰ～Ⅲ 生活スタジオⅠ 卒業研究

学修上の助言	受講生とのルール
プロジェクトを完遂させるためには、チーム内での連携、教員スタッフや外部協力者からの支援が必要となる。積極的に周囲とのコミュニケーションをはかり、全体の協力体制を築いていくよう心がけてほしい。	・グループでの作業が基本となるので無断欠席は厳に慎むこと。また、スタジオ学習は、自ら主体的に課題を発見し取り組んでいく科目であり、授業時間内のみでなくそれ以外の多くの時間でも、課題達成に向けての作業が必要になることを理解しておいてほしい。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
小テスト		①	
		②	
レポート	30	①	毎週提出が義務付けられている1週間の自分およびチームの活動を記録したシートの提出状況及び、内容を評価する。 学期末に提出するプロジェクト全体の活動報告書の内容を評価する。
		②	
		③	
成果発表 (口頭・実技)	20	①	定例報告会と生活スタジオ報告会のプレゼンテーションの内容を評価する。 ただし、評価はプロジェクトチーム内で一律ではなく、発表に対する各人の貢献度によって異なる。
		②	
		③	
作品	40	①	実施されたプロジェクトの内容を評価する。 ただし、評価はプロジェクトチーム内で一律ではなく、活動に対する各人の貢献度によって異なる。
		②	
		③	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	<p>【主体性】プロジェクトの完遂に向け、時間や労力を惜しまず継続して取り組むことができる。</p> <p>【働きかけ力】プロジェクトの完遂に向け、よりよい協力関係を築くことができるようチームのメンバーに声掛けができる。</p> <p>【実行力】プロジェクトの完遂のために、困難を乗り越えることができる。</p> <p>【課題発見力】プロジェクトの問題点を客観的に分析し、その解決方法を提案することができる。</p> <p>【計画力】プロジェクトを円滑に進めるためのスケジュール管理、予算管理ができる。</p> <p>【創造力】プロジェクトをよりよい解決に導くために複数のアイデアから最善の方策を導き出すことができる。</p> <p>【発信力】プロジェクトの進捗状況を整理し、聞き手に解りやすい工夫を加えながら発表することができる。</p> <p>【傾聴力】プロジェクトに関わる様々な立場の人と円滑なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>【柔軟性】プロジェクトに関わる様々な立場の異なる意見や価値観を理解し、受け入れることができる。</p> <p>【状況把握力】プロジェクトの完遂に向け、自分のやるべきことを理解し、行動することができる。</p> <p>【規律性】プロジェクトを円滑に進めるためのルールをメンバー同士で確認し、それを遵守することができる。</p> <p>【ストレスコントロール力】プロジェクトの完遂のための困難を自己成長の機会と捉え、前向きに受けとめることができる。</p> <p>※上記項目について、担当教員と協働している場面においては、教員の目視、それ以外での活動については毎週提出が義務付けられている1週間の自分およびチームの活動を記録したシートの記述内容から評価する。</p>
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
自分の役割を認識し、プロジェクトの完遂、課題の完成に向けて積極的に取り組んでいる。 毎週の活動報告とプロジェクト全体の活動報告が詳細に記録され、期日を守って提出されている。 ※上記項目について、プロジェクト担当教員のみならず、全教員から評価を与えられた場合にS(秀)評価とする。	協力的な態度でプロジェクトや課題に取り組んでいる。 毎週の活動報告とプロジェクト全体の活動報告がきちんと記録され、提出されている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	生活スタジオⅡの授業説明 プロジェクト個別作業 ※各グループの企画内容によって、作業内容は異なる。	レクチャー 実習 グループワーク	生活スタジオⅡで取り組むべき課題が理解できる。 グループでの作業に積極的に参加できる。	(予習)生活スタジオⅠの活動内容を見直す。 (復習)生活スタジオⅡの活動方針を再確認する。	90 90	全ての能力要素
2週 /	プロジェクト個別作業 ※各グループの企画内容によって、作業内容は異なる。	実習 グループワーク	グループでの作業に積極的に参加できる。	(予習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。 (復習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。	90 90	全ての能力要素
3週 /	プロジェクト個別作業 ※各グループの企画内容によって、作業内容は異なる。	実習 グループワーク	グループでの作業に積極的に参加できる。	(予習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。 (復習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。	90 90	全ての能力要素
4週 /	定例報告会1 プロジェクトの進捗状況をプレゼンテーションして、教員やメンバー外の学生からアドバイスを受ける。	プレゼンテーション グループワーク	プロジェクトの進捗状況を簡潔に説明することができる。	(予習)グループで協力して定例報告会の準備をおこなう。 (復習)定例報告会で受けたアドバイスをまとめて、活動計画を見直す。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
5週 /	プロジェクト個別作業 ※各グループの企画内容によって、作業内容は異なる。	実習 グループワーク	グループでの作業に積極的に参加できる。	(予習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。 (復習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。	90 90	全ての能力要素
6週 /	プロジェクト個別作業 ※各グループの企画内容によって、作業内容は異なる。	実習 グループワーク	グループでの作業に積極的に参加できる。	(予習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。 (復習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。	90 90	全ての能力要素
7週 /	プロジェクト個別作業 ※各グループの企画内容によって、作業内容は異なる。	実習 グループワーク	グループでの作業に積極的に参加できる。	(予習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。 (復習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。	90 90	全ての能力要素
8週 /	プロジェクト個別作業 ※各グループの企画内容によって、作業内容は異なる。	実習 グループワーク	グループでの作業に積極的に参加できる。	(予習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。 (復習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。	90 90	全ての能力要素

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	生活スタジオ報告会 生活スタジオ I、II でのこれまでの取り組みについてプレゼンテーションをおこなう	プレゼンテーション	プロジェクトの概要とこれまでの実施結果をわかりやすく報告できる。	(予習)グループで協力して報告会の準備をおこなう。 (復習)報告会で受けたアドバイスをまとめる。	150 30	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
10週 /	プロジェクト個別作業 ※各グループの企画内容によって、作業内容は異なる。	実習 グループワーク	グループでの作業に積極的に参加できる。	(予習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。 (復習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。	90 90	全ての能力要素
11週 /	プロジェクト個別作業 ※各グループの企画内容によって、作業内容は異なる。	実習 グループワーク	グループでの作業に積極的に参加できる。	(予習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。 (復習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。	90 90	全ての能力要素
12週 /	プロジェクト個別作業 ※各グループの企画内容によって、作業内容は異なる。	実習 グループワーク	グループでの作業に積極的に参加できる。	(予習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。 (復習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。	90 90	全ての能力要素
13週 /	プロジェクト個別作業 ※各グループの企画内容によって、作業内容は異なる。	実習 グループワーク	グループでの作業に積極的に参加できる。	(予習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。/(復習)時間外にもグループで計画をたて作業を進める。	90 90	全ての能力要素
14週 /	活動報告書の作成と最終プレゼンテーションの準備	実習 グループワーク	グループでの作業に積極的に参加し、報告書作成とプレゼンテーションの分担部分を完成させられる。	(予習)授業時間外にもグループで協力して報告書の作成とプレゼンテーションの準備をおこなう。 (復習)授業時間外にもグループで協力して報告書の作成とプレゼンテーションの準備をおこなう。	90 90	全ての能力要素
15週 /	定例報告会2 ※生活スタジオ II のまとめ プロジェクト最終プレゼンテーションをして、教員やメンバー外の学生から評価を受ける。	プレゼンテーション グループワーク	プロジェクトの実施結果を簡潔に報告できる。	(予習)授業時間外にもグループで協力して報告書の作成とプレゼンテーションの準備をおこなう。 (復習)授業時間外にもグループで協力して報告書をおこなう。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力